



ルーテル学院だより

NO.147
2021.9.1

<http://www.luther.ac.jp/>
発行 ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL:0422-31-4611 FAX:0422-33-6405

発行人 石居 基夫

授業探訪 「いのち学」序説



宮本 新 専任講師

〈専門分野〉
キリスト教、組織神学、宣教学
〈主要担当科目〉
教義学概説、宣教学、キリスト教の信仰他

Q 授業では何を学ぶことができますか？

A 人間の「いのち」について基礎的なことを広くそして深く学ぶことを目指した授業です。特に現代社会を生きている私たちにとって、いのちをめぐる問いは幅広く複雑なものとしてあらわれてきます。たとえば昨年の授業では「精子のネット取引」や社会問題となった安楽死をめぐる事件、あるいはコロナ禍における命の選別といった生命倫理学の喫緊の課題を考える機会を設けました。しかしこれらは社会的で倫理的な課題であると同時にこれらを超えた次元もまた含まれています。人間とその他のいのちの理解は古くからの歴史的な関心であり、哲学的で宗教的な課題でもあるからです。聖書や古典、芸術芸能も取り上げ深く考える機会があるのはそのためです。ですから学生はこの授業でいのちをめぐる基礎的な問題や知識を学ぶ事にもなりますが、学びを通じて、自らのいのち

ちを見つめ考えるような機会になると思います。

Q そもそも「いのち学」とはどんな学びなのでしょう？

A これは2000年代に本学に設置された総合人間学の比較的新しい科目です。一昨年創立110年を迎えた本学のはじまりはキリスト教の牧師を養成する神学校でした。現在は社会福祉、そして臨床心理に発展、おもに三つの専門領域を有していますが、これらに共通しているのはどの専門性（専門知識／職）も生きた人間の現実に深くかかわっており、その分、自らの専門性に閉じこもらないで広くて深い人間理解の確立が求められています。「いのち学序説」ではその基礎を学ぶという意味で生涯教育としても学べるし、またたえず自らの人間としてのいのちの理解をアップデートしたり再統合するためのスタート地点を見定めるような学びと考えるてよいでしょう。

Q 授業はどんな形で進められますか？

A 講義が基本にありますが、目指すべきは一方から双方向、そしてディスカッションやグループワークなど多様な学び方にあります。授業の終わりにには講義内容のリフレクションペーパー（ふり返り）を書いたり、毎授業のはじまりにそのリフレクションを分かち合ったりします。こうしてみるとずいぶん多くのことが求められていると感じるかもしれません。100分ある一回の授業について一方的な講義を学生が聞いて終わることなく、学生本人がアクティブに参加して学べるかの工夫にあります。ただし昨年と今年は、コロナ禍においてオンラインによる双方向形式で行うので慣れないことも多く、一層の工夫が求められているのは進行形の課題です。

Q 先生が授業で大切にしている視点がありますか？

A 「いのち学」のような総合的な理解が求められる場面で、この授業ではキリスト教の人間理解を軸としています。実際、授業を通して「キリスト教」は巨大な貯蔵庫のようなものだ、と感じることがあります。神学そのものはキリスト教の神や信仰について考えるのですが実はこの神を考えることを通じて探求されているのは人間についてであり、その社会であり、世界についてです。そこで数千年単位で人々が体験し感じて考えてきたことがあります。現代のようにいのちをめぐる問題が家庭から国際社会のレベルまで急速な変化を遂げているところでは、どこかで腰を据えてしっかりと考え抜いていく姿勢や方法を身につけなければならぬと感じています。本学の場合、キリスト教の人間理解で積み重ねてきたものがあり、その線上で新しい課題に向き合い、学生の皆さんといのち理解の探求をしたいと考えています。



実習報告

児童分野

子どもたちのために
できること

子ども支援コース3年 小澤 藍子

私は社会福祉士を目指し、特に児童分野の授業を積極的に受けており、児童養護施設で実習を行いました。実習では、家庭的とは何か、ということを知りたいと思いました。

最初に学んだことは、児童養護施設での生活の場は、子どもたちにとって安全で安心できる場所であることです。安全な場所というのは、子どもとしての権利が守られ、その権利を主張できること、帰る場所があることだということを学びました。

子どもたちがどんなに怒っても泣き叫んでも、さまざまな複

障害分野

利用者のニーズに
合わせた支援を

子ども支援コース3年 福山由里恵

私は、社会福祉士の受験資格取得のため、障害福祉の地域拠点である地域活動ホームで25日間の実習を行いました。実習では、相談支援を利用している利用者との面談に同席したり、地域の施設との合同の会議に参加したり、パンやクッキー、雑貨等も作る日中活動を利用している方達と関わったりと、さまざまな現場を体験しました。

面談に同席させていただいた時には、利用者が今、何に困っているのかについて、会話の中から読み取るよう努めました。傾聴することで利用者が何を今

雑な気持ちを受け止めてくれる信頼できる職員の存在があることが安心につながるのだということも分かりました。子どもたちが自分の気持ちを大切にしているのを感じられるように日々のコミュニケーションを大切にしていることだけでなく、子どもたちが感情を表に出すことができるのは、ここは安全で安心できる場所であると知っているからだ、ということも職員の方から学びました。

私にとって今回の実習は誰かのために私にできる何かがあった、という気持ちがより一層強くなる実習でもありました。

子どもたちは生活する場所や

したいのか、その方のニーズに合わせた支援とは何なのか、どのような機関でどのような支援に繋がれば利用者はもっと生活しやすくなるのかを考えるようになりました。

地域の他機関との会議の中では、どの機関がどのような時に、どのような支援をしているのかということを少しずつ理解し、自治体独自の制度についても沢山知ることができました。この自治体は私が住んでいる市でもあったので、自分の市の福祉制度を理解することで、友達や家族にも説明ができるようになってきたのではないかと思います。

日中活動での利用者との関わりでも、言葉でのコミュニケーションを取る事が難しい方もいたため、最初はどういうように

担当職員が変わるといった環境の変化もある中で、職員も試行錯誤しながら、時には子どもたちの複雑な気持ちに対して悩みながらも引き継がれてきた支援があり、子どもたち一人ひとりの人生を繋いでいくことが児童養護施設での支援者としての大きな働きなのだ学びました。

今回の実習を通して、誰かの人生に触れるということの不安や怖さを改めて感じました。

私にとって今回の実習は誰かのために私にできる何かがあった、という気持ちがより一層強くなる実習でもありました。

わたたらよい悩み場面もありました。しかし、利用者と関わったり、職員の利用者に対する接し方を観察したりして、私も徐々に利用者の行動から、その時何をしたいのか、どう思っているのかを考えられるようになり、また、実習が進むにつれて自然と笑顔でコミュニケーションが取れるようになっていったのではないかと思います。

多くの利用者と関わり、地域と施設の連携体制等、学びの多い実習でした。これらの学びを活かし、社会福祉士を目指して頑張っていきたいと思っています。

入試合格体験記（総合型選抜）

総合型選抜は、自身の想いや熱意をアピールしていただく試験です。
授業体験型、活動アビール型、キリスト教会推薦型 があります。
2021年度入試から、AO入試から総合型選抜に変わりました。
ここではAO入試を受験した学生からメッセージをいただきました。

臨床心理コース2年 伊藤 樹

私は中学生の時、友達が受けたたいじめがきっかけで、カウンセラーになりたいと思いました。それから心理学が学べる大学のオープンキャンパスに足を運び、その中でルーテルに出会いました。ルーテル学院大学を志望した理由は、第一種指定大学院があり臨床心理士、公認心理師資格に対応していること、少人数で実践的かつ専門性に長けた大学であるという印象を受けたためです。

AO入試の内容は課題と面接でした。面接では、大学のことはもちろん、自身のことや社会の出来事について質問されたいと思います。新聞やニュースを目を通して頂き、課題テーマは、模擬講義について考えを深める課題と高校時代に積極的に取り組んだことをまとめ

子ども支援コース2年 田口加奈子

私は高校生のころ何度かルーテルのオープンキャンパスに行くうちに、先生と生徒の距離が近いことに魅力を感じました。その様な環境の中で、興味がある福祉について、より専門的な知識を直接学べるのではないかと思います。この大学を志望しました。

私はルーテルで学ぶ意欲を直接伝えたいと思い、AO入試での受験を決めました。AO入試の内容は主に課題提出と面接です。面接では予め提出している2種類の課題の内容についての説明に加え、自己PRなどがありました。面接と聞くと、とても緊張してしまうと思いますが、落ち着いて自分の話すべき事をきちんと考え、まとめていけば、上手にできると思います。

るという内容でした。課題を書くために積極的にオープンキャンパスや体験講座に参加し、もう一つの課題は、生徒会や高校生活全体について書きました。

コロナ禍の中で大学生活が始まり、1年前期は全面オンラインで、レポートの書き方が分からず苦戦しました。そんな時でもルーテルには、新入生アドバイザーの教員がいて、学生生活での悩みを気軽に相談することができました。おかげで、後期は満足のいく結果を修めることができました。

コロナ禍で大学生活に不安を持つ受験生も多いと思いますが、ルーテルにはその不安をサポートしてくださる教員、職員、在校生がいます。ぜひ、オープンキャンパスや個別相談に参加して、ルーテル学院大学の空気感を知ってください。

年内入試日程

選抜方式	区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
総合型選抜 授業体験型 活動アビール型 キリスト教会推薦型	I期	10/1(金)～10/14(木)	10/23(土)	11/1(月)	11/2(火)～11/18(木)
	II期	11/1(月)～11/11(木)	11/20(土)	12/1(水)	12/2(木)～12/16(木)
	III期	11/29(月)～12/10(金)	12/18(土)	12/24(金)	12/27(月)～1/14(金)
学校推薦型選抜 ミッションスクール推薦型 指導者推薦型 指定校推薦型		11/1(月)～11/11(木)	11/20(土)	12/1(水)	12/2(木)～12/16(木)
社会人入試(1年次、編入学)					
編入学入試	I期	11/1(月)～11/11(木)	11/20(土)	12/1(水)	12/2(木)～12/16(木)
留学生入試(1年次、編入学)					

・入試要項はルーテル学院大学ホームページから各自ダウンロードしてお使いください。
・学校推薦型選抜 指定校推薦型 在籍している高校が本学の指定校になっているかについては、進路指導をご担当いただいている高校の先生にお問合せください。
・入試に関するお問合せ 電話 0422-32-2949 メール koho@luther.ac.jp



2021年クヌーテン講演会 「コロナ病棟の聖職者」

チャブレン 河田 優

4月28日(水)「コロナ病棟の聖職者」と題してクヌーテン講演会が行われました。講演者は日本福音ルーテル教会牧師であり、現在はミネアポリスのアボット・ノースウエスタン病院でチャブレンとして働く関野和寛氏です。今回はコロナ禍ということもありオンラインでの開催でしたが、むしろそのことによりアメリカでの現状を伝える生の声を聞くことができ、日本ばかりではなく世界に向けて視野が広がるきっかけとなりました。

関野牧師は、まずミネアポリスの現状を紹介しました。もともと治安の良い地域でしたが、新型コロナウィルス感染拡大によって人と人との関係が断ち切られている問題をあげ、特に入院してコロナ病棟で過ごす人たちの孤独に触れられました。コロナ病棟では、死を



写真中央 関野牧師

目前にした方たちの看取りが行われます。それに関わることでできるのは家族ではなくて、医師と聖職者なのです。関野牧師は感染防止の防護服を身にまと

オンライン形式で 保護者会を実施しました。

学生支援センター長 村上 秀紀

昨年に続き、今年もオンライン形式で6月26日(土)に保護者会を開催し、100名を超える参加者がありました。恒例の礼拝に始まり、全体会では石居学長より、昨年度より続く新型コロナウィルス禍における大学の取り組み、対面授業と遠隔授業を組み合わせ

い、他宗教の聖職者と協力しながら入院患者一人一人の声を聞き、言葉を掛けていきます。その最後の時に送る言葉として「ありがとう」「ごめん」「ゆるすよ」「愛しているよ」「心配しないで」「また会おうね」という六つの言葉が何よりも大切だと話されていました。その人のこれまでの生涯を肯定すること、そしてまたその人の逝く先を肯定すること、それがこれらの言葉に表されていると言えるでしょう。

講演の最後には学生からたくさんのチャットが送られてきました。
・ひとりですることには限りがあっても顔も知らないたくさんの人たちが力を貸してくれる。だからどこへだって行ける。みんなひとりじゃない。
・講演を拝見して、ルーテル学院大学で学ぼうと思った初心を再認識できました。ありがとうございます。

本学の教育理念と使命を確認するクヌーテン講演会。本年度も祝された時であったことを主に感謝いたします。

クヌーテン講演会とは

本学で教鞭をとられたクヌーテン宣教師ご夫妻を記念して行われるもので、キリスト教信仰に基づき社会的な活動に従事された方よりご講演いただいています。

たハイブリット型の授業形態、後期の見通し等が説明されました。

その後5コース紹介、大学院の紹介と続き、休憩をはさんで2部は各コース別のプログラムに分かれて、カリキュラム、資格、就職に関する説明を受け、コース教員と情報共有の場を持ちました。来校できる機会がない中、大学を身近に感じる良い時間だったとの声を多くの保護者の皆さまからいただきました。次年度は、キャンパスで開催できることを期待したいと思います。

新型コロナウイルス 感染拡大防止の取り組み

安全衛生委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、内閣府と東京都が行うモニタリング検査(PCR検査)の案内が4月中旬にあり、早速申し込みをしたところ、都内の大学で2番目に実施するほど早期にすることができ、延べ10回の検査に協力しました。

このことは実習を行っている学生にとっても、少しではありますが安心してできる材料をもって現場に行くことができたと思います。

また、実習はコロナ禍でも受け入れていただける施設のご協力があったことであり、多くの方のおかげで本学の学びが継続することができていることも実感しました。感謝申し上げます。

秋のオープンキャンパス 大学院オープンセミナー

9月18日(土)

オンライン配信型(ZOOM)

大学院臨床心理学専攻
オープンセミナー

10月9日(土)

大学院社会福祉学専攻
オープンセミナー

10月30日(土)

保護者対象オープンキャンパス

11月27日(土)

大学院社会福祉学専攻
オープンセミナー

大学院臨床心理学専攻
オープンセミナー

12月4日(土)

オープンキャンパス

新型コロナウイルスの状況により、開催形式等が変更となる場合があります。

最新の情報はホームページに掲載しています。

お問合せ 0422-32-2949
メール koho@luther.ac.jp